



2020年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月4日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2019年10月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	5,830	14.5	344	17.0	352	16.1	178	25.4
2019年5月期第1四半期	5,090	10.0	415	45.6	420	48.5	239	31.5

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 175百万円 (27.1%) 2019年5月期第1四半期 240百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	22.94	
2019年5月期第1四半期	28.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	19,840	3,384	17.1	434.73
2019年5月期	19,862	3,351	16.9	430.47

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 3,384百万円 2019年5月期 3,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		18.31	18.31
2020年5月期					
2020年5月期(予想)		0.00		38.81	38.81

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,290	15.0	498	7.5	523	4.9	285	7.5	36.67
通期	22,669	12.5	400	21.7	500	0.1	1,011	105.7	129.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期1Q	8,396,000 株	2019年5月期	8,396,000 株
期末自己株式数	2020年5月期1Q	610,258 株	2019年5月期	610,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期1Q	7,785,742 株	2019年5月期1Q	8,389,267 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な国際情勢の影響により、先行きは不透明な状況にあります。

日本社会においては、少子化が継続しておりますが、大学入試制度の改革、待機児童問題、幼児教育・保育の無償化などにより、教育や保育についての社会的関心は高まっております。一方で、高齢化社会の継続した進展により、高齢者向けのサービス需要の拡大が続いております。

当社グループにおいては、長期的に発展し、時代の流れと社会の要請に対応するため、積極的な事業領域の拡大を行っており、当社グループを安定的に支える教育サービスにとどまらず“人の一生に関わる「一生支援事業」を展開する企業へ事業の拡大をすすめております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

当第1四半期連結累計期間の売上高は5,830百万円（前年同期比14.5%増）となり、前年同期に比べ739百万円増加しました。営業利益は344百万円（同17.0%減）となり、前年同期に比べ70百万円減少しました。経常利益は352百万円（同16.1%減）となり、前年同期に比べ67百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は178百万円（同25.4%減）となり、前年同期に比べ60百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、脳科学に基づく独自の学習法「リーチングメソッド」や新学習指導要領に対応したプログラム等により、少子化の環境の中でも2019年春の集客では生徒数が前年を上回りました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高3,057百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益778百万円（同2.1%増）となりました。生徒数（フランチャイズ事業における末端生徒数含む）の増加（同2.7%増、前年同期に比べ709人増加）により、増収増益となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、小学校における英語の科目化の影響により幼児から小学校低学年までを主な対象とするユニバーサルキャンパスの積極的な開校を行っております。2018年9月にはオーストラリアの語学学校English Language Company Australia Pty Ltd.を完全子会社とし、英語圏の留学先として集客を開始しました。校舎数が国内10校になった日本語教育事業では、日本有数の日本語学校グループとして、留学生の数が順調に増加しております。国際人材交流事業では、中国及び、ミャンマー国内で日本語教育を行っており、技能実習生や特定技能での就職を目指す人材に向けた日本語教育を実施しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加（前年同期比25.4%増、前年同期に比べ1,390人増加）により売上高817百万円（同39.6%増）となりましたが、2019年5月期にM&Aで買収した子会社2社ののれん費用が増加した影響等で、セグメント損失88百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

<保育・介護事業>

保育事業においては、2019年春に10園の保育園を開園し、当社グループ及び関連の保育園の園数は72園となりました。2019年4月に株式会社リッチを完全子会社とし、介護事業とのシナジー効果を見込んだフードサービス事業の展開を拡大しました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加（前年同期比24.5%増、前年同期に比べ533人増加）により、売上高1,954百万円（同28.9%増）、セグメント損失1百万円（前年同期は43百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、19,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少しました。流動資産は、4,991百万円となり145百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の減少367百万円、売掛金の増加409百万円等です。固定資産は14,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円減少しました。有形固定資産は、9,956百万円（前連結会計年度末に比べ93百万円減少）となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）の減少79百万円等です。無形固定資産は、2,306百万円（前連結会計年度末に比べ94百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少80百万円等です。投資その他の資産は、2,586百万円（前連結会計年度末に比べ20百万円増加）となりました。主な要因は、繰延税金資産の減少56百万円、敷金及び保証金の増加65百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、16,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ、55百万円減少しました。流動負債は、7,744百万円となり251百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加200百万円、未払

金の増加379百万円、未払法人税等の減少212百万円、賞与引当金の増加220百万円、その他の減少260百万円等です。固定負債は8,711百万円となり、307百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少328百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ、33百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加36百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末16.9%から0.2ポイント上昇し17.1%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,516,560	3,149,149
売掛金	617,088	1,026,506
商品	66,440	109,880
貯蔵品	15,942	17,400
その他	665,244	727,840
貸倒引当金	△35,547	△39,398
流動資産合計	4,845,728	4,991,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,271,599	5,192,334
土地	2,780,657	2,779,872
リース資産(純額)	1,653,802	1,634,558
建設仮勘定	324	13,944
その他(純額)	343,756	335,663
有形固定資産合計	10,050,139	9,956,372
無形固定資産		
のれん	2,134,464	2,053,728
その他	266,913	252,661
無形固定資産合計	2,401,377	2,306,389
投資その他の資産		
投資有価証券	145,701	137,066
繰延税金資産	830,013	773,899
敷金及び保証金	1,411,909	1,477,739
その他	179,984	199,315
貸倒引当金	△1,872	△1,747
投資その他の資産合計	2,565,735	2,586,274
固定資産合計	15,017,253	14,849,036
資産合計	19,862,981	19,840,415

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,188	128,338
短期借入金	3,000,000	3,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,356,569	1,319,937
リース債務	72,833	73,556
未払金	574,543	954,044
未払法人税等	336,495	124,484
前受金	1,012,301	926,794
賞与引当金	114,519	335,255
資産除去債務	4,540	2,940
その他	939,739	679,080
流動負債合計	7,492,732	7,744,433
固定負債		
長期借入金	4,561,010	4,232,894
リース債務	1,777,869	1,761,553
退職給付に係る負債	1,690,964	1,711,257
役員退職慰労引当金	200,384	205,467
資産除去債務	243,031	242,611
繰延税金負債	463,193	469,945
その他	82,231	87,558
固定負債合計	9,018,687	8,711,287
負債合計	16,511,420	16,455,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,447,122	3,483,209
自己株式	△695,920	△695,920
株主資本合計	3,343,049	3,379,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,029	23,984
為替換算調整勘定	50,505	50,330
退職給付に係る調整累計額	△72,024	△68,756
その他の包括利益累計額合計	8,511	5,558
純資産合計	3,351,560	3,384,694
負債純資産合計	19,862,981	19,840,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	5,090,474	5,830,110
売上原価	3,771,761	4,356,839
売上総利益	1,318,713	1,473,270
販売費及び一般管理費	903,488	1,128,691
営業利益	415,224	344,578
営業外収益		
受取利息	344	902
受取配当金	1,024	1,083
為替差益	1,784	—
貸倒引当金戻入額	213	264
持分法による投資利益	515	—
補助金収入	23,706	31,988
雑収入	7,924	14,733
営業外収益合計	35,513	48,973
営業外費用		
支払利息	30,220	31,329
為替差損	—	8,682
持分法による投資損失	—	511
雑損失	247	321
営業外費用合計	30,467	40,844
経常利益	420,270	352,707
特別損失		
減損損失	3,779	5,995
固定資産除却損	0	55
特別損失合計	3,779	6,050
税金等調整前四半期純利益	416,491	346,656
法人税、住民税及び事業税	121,118	103,967
法人税等調整額	55,977	64,045
法人税等合計	177,096	168,013
四半期純利益	239,394	178,643
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,394	178,643

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	239,394	178,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,721	△6,045
為替換算調整勘定	3,464	△248
退職給付に係る調整額	1,853	3,267
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	73
その他の包括利益合計	1,595	△2,953
四半期包括利益	240,990	175,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,990	175,690

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,987,900	585,823	1,516,750	5,090,474	—	5,090,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,987,900	585,823	1,516,750	5,090,474	—	5,090,474
セグメント利益又は損 失(△)	762,563	949	△43,029	720,483	△305,259	415,224

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△305,259千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△330,514千円及びその他の調整額25,254千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,057,178	817,818	1,954,870	5,829,867	242	5,830,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,057,178	817,818	1,954,870	5,829,867	242	5,830,110
セグメント利益又は損失 (△)	778,670	△88,656	△1,367	688,646	△344,068	344,578

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△344,068千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△380,100千円及びその他の調整額36,032千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年3月1日付にて行った組織変更に伴い、前連結会計年度より調整額に含まれていた「株式会社アルファビート」を「語学関連事業」セグメントに含めて開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。